

令和2年度 決算状況		人口増減率	人口密度	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造	都道府県名	団体名	市町村類型	V-2		
		43,337人	40,984人	3.1.1	42,841人	42,403人	平成27年国調	43	4043				
		5.7%	37.46/km ²	2.1.1	42,306人	41,847人	平成22年国調	熊本市	菊陽町	地方交付税種地	1-3		
			1,157人		1.3%	1.3%	第1次						
							第2次						
							第3次						
歳入の状況 (単位:千円・%)													
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比									
地方譲与税	7,523,277	35.3	7,523,277	85.5									
地方譲与税	130,094	0.6	130,094	1.5									
利子割交付金	3,690	0.0	3,690	0.0									
配当割交付金	15,951	0.1	15,951	0.2									
株式等譲渡所得割交付金	15,694	0.1	15,694	0.2									
分離課税所得割交付金	-	-	-	-									
地方消費税交付金	894,291	4.2	894,291	10.2									
ゴルフ場利用税交付金	9,984	0.0	9,984	0.1									
特別地方消費税交付金	-	-	-	-									
自動車取得税交付金	-	-	-	-									
軽油引取税交付金	-	-	-	-									
自動車税環境性能割交付金	7,504	0.0	7,504	0.1									
法人事業税交付金	73,505	0.3	73,505	0.8									
地方特例交付金	57,202	0.3	57,202	0.6									
内個人住民税減収補填特例交付金	51,522	0.2	51,522	0.6									
自動車税減収補填特例交付金	3,334	0.0	3,334	0.0									
軽自動車税減収補填特例交付金	2,346	0.0	2,346	0.0									
地方交付税	220,659	1.0	57,632	0.7									
内普通交付税	57,632	0.3	57,632	0.7									
特別交付税	162,427	0.8	-	-									
内農林水産特別交付税	-	-	-	-									
(一般財源計)	8,951,251	42.0	8,788,824	99.9									
交通安全対策特別交付金	8,167	0.0	8,167	0.1									
分担金・負担金	171,638	0.8	-	-									
使費用	93,681	0.4	-	-									
手数料	78,111	0.4	-	-									
国庫支出金	7,457,574	35.0	-	-									
国有提供交付金	3,477	0.0	3,477	0.0									
(特別区財調交付金)	-	-	-	-									
都道府県支出金	1,434,347	6.7	-	-									
財産収入	18,008	0.1	-	-									
寄附	39,884	0.2	-	-									
繰入金	945,747	4.4	-	-									
繰越	778,275	3.7	-	-									
繰入金	42,869	0.2	784	0.0									
繰越	1,288,300	6.0	-	-									
地方債	-	-	-	-									
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-									
うち猶予特例債	-	-	-	-									
うち臨時財政対策債	69,700	0.3	-	-									
歳入合計	21,311,329	100.0	8,801,252	100.0									
性質別歳入の状況 (単位:千円・%)													
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区分	決算額	構成比	(A)のうち	(A)のうち	基準財政収入額	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)
人件費	2,013,032	9.8	1,802,981	1,777,742	20.0	区	(A)	構成比	普通建設事業費	充当一般財源等	6,987,113	6,667,748	
うち職員給	1,054,747	5.1	929,692	-	-	議会	121,600	0.6	-	121,600	7,048,346	6,682,084	
扶助	4,307,392	20.9	1,189,377	1,175,661	13.3	総務	6,207,029	30.1	73,275	1,698,205	8,975,939	8,622,439	
公債	1,387,829	6.7	1,333,676	1,332,576	15.0	衛生	6,176,486	30.0	107,672	2,536,456	9,103,347	8,645,747	
元利償還金	1,289,158	6.3	1,235,005	1,233,905	13.9	衛生	1,433,925	7.0	-	1,332,157	1,000	0.98	
一時借入金	98,637	0.5	98,637	98,637	1.1	労働	11,830	0.1	-	11,697	4.5	6.6	
(義務的経費計)	7,708,253	37.4	4,326,034	4,285,979	48.3	労働	347,156	1.7	55,210	237,417	12.2	12.4	
物件費	2,310,822	11.2	1,834,142	1,540,452	17.4	農林水産	252,330	1.2	-	243,282	-	-	
維持修費	76,125	0.4	64,862	32,660	0.4	商工	1,015,228	4.9	452,006	709,669	-	6.6	
補助費等	6,394,497	31.0	1,907,738	1,098,975	12.4	土木	963,942	4.7	554,107	554,107	6.3	6.6	
うち一部事務組合負担金	1,066,160	5.2	1,066,160	652,420	7.4	消防	2,679,471	13.0	1,091,593	1,457,765	10.5	-	
繰立	1,117,909	5.4	890,094	849,785	9.6	教育	11,155	0.1	-	5,269	-	-	
投資・出資金・貸付金	683,110	3.3	682,470	-	-	公債	1,387,829	6.7	-	1,333,676	1,885,854	1,905,621	
前年度繰上充用金	109,662	0.5	109,662	109,662	1.2	諸支出金	-	-	-	-	388,819	388,780	
投資的経費	2,207,603	10.7	426,298	-	-	歳出合計	20,607,981	100.0	2,196,448	10,241,300	2,462,483	2,684,643	
うち人件費	104,135	0.5	104,135	7,917,513	90.0	公債	-	-	-	-	16,137,848	16,138,706	
普通建設事業費	2,196,448	10.7	426,298	421,029	19.3	歳出	20,607,981	100.0	2,196,448	10,241,300	16,137,848	16,138,706	
うち補助	694,545	3.4	33,822	89.3%	(90.0%)	国庫	1,402,979	6.8	20,843	20,843	-	-	
うち単独	1,492,016	7.2	380,520	32.2%	(32.2%)	国庫	285,070	1.4	5,674	5,674	-	-	
災害復旧事業費	11,155	0.1	5,269	0.0%	(0.0%)	国庫	15,966	0.1	4,396	4,396	-	-	
失業対策事業費	-	-	-	-	-	国庫	-	-	7,209	7,209	-	-	
歳入合計	20,607,981	100.0	10,241,300	10,944,648	104.6%	国庫	281,482	1.4	102	102	98.5	96.3	
						国庫	820,461	4.0	336	336	99.2	96.3	
						国庫	-	-	-	-	99.2	96.2	
						国庫	-	-	-	-	97.8	96.1	
						国庫	-	-	-	-	99.3	97.6	

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含み、単独事業費には同級団体施行事業負担金及び受託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況ととりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)